



CANOA  
OUTDOOR  
CLUB

# 2022かのおアウトドアクラブご協賛のお願い

千歳子ども達へ。心が動く本物の体験を、確かな経験に。

# ちとせの子供たちに 心が動く本物の体験を、ちとせで。

千歳市が誇る大自然『支笏湖』で、私たちが場づくりを行う背景としては、子どもの野外体験機会の減少があります。

10年以上前から取り上げられているこの問題は都市部に限らず、自然が豊かな北海道・千歳市であっても例外ではありません。

「自然体験」は幼児教育や学校教育の内容に明記されているように、子どもの心技体の成長にとって欠かせない体験の一つです。

昨今社会が大きく変化し、リモートワークやオンラインが当たり前という時代に突入しましたが、

私達は、人間が生きる上で生身の体で直接自然を体験すること、本物に触れることが今まで以上に必要不可欠だと考えています。

私たちが住む千歳は、子どもの自然体験にとって絶好のフィールドが揃っています。

屈指の水質を誇る支笏湖を有し、その支笏湖からは清流千歳川が街中へ流れ込み、国立公園として保護され続けている豊かな森と山々。

「この環境は、良質な気づきと学びを得られる場である。」

これは、プロのアウトドアガイドとして支笏湖を拠点に10年以上携わった中で、感じている確かな感覚です。

国立公園として守り続けてきたこの『支笏湖』というフィールドは、子どもたちがこれから迎えるであろう、

想像できないほど進化を遂げる未来に対し、身体共に大きな影響を与えてくれる、自然体験の場づくりには絶好の環境です。

私たちは子ども達にとって「楽しくてわくわくする経験を積み重ねる場」を作り上げることで、

非日常のコミュニティ活動の中で、学校では学べない『多様な考え方・多様な話し方・多様な関わり方』といった「多様な生き方」を育むことで

千歳に素晴らしい人材が生まれてくることを期待しております。

是非、今を生きる子どもが、しっかりと地に立ち、成長してゆく、

千歳市のオリジナリティあふれる自然教育環境づくりにご理解とご協力を賜りたく、ご支援のお願いを申し上げます。

# 多様な学びについて



## 1、野外教育的学び

自立的感覚、自律的感覚、良質な集団意識の形成、自己管理、危険察知力、困る経験、助け経験、乗り越える力

→数値化されないが絶対的に必要な「非認知能力」が培われる。

## 2、環境教育的学び

ゴミ問題、資源の有限性、人が自然に与える影響

→持続可能な自然環境を考え、持続可能な社会へシフト。

## 3、地域教育的学び

地元の素晴らしさを発見、あらゆる世代・多様な人との関わり、キラキラした大人の姿、信頼できる大人。

→家庭を離れた社会で、信頼できる人との関わり、地域愛の造成。

# アウトドアクラブ タイムスケジュール

—親元を離れ、ひとり千歳駅から一步踏み出す1 DAY—

中央バス

8:25 新千歳空港 → 8:32 南千歳駅 → 8:38 千歳駅前 → 8:47 本町2丁目 → 8:57 新星 → 9:22 支笏湖

9:22 支笏湖バス停でスタッフお迎え

9:30 かのあ集合/朝のミーティング (活動の確認・持ち物の確認)

9:40 活動準備

10:00 午前の部 活動開始

12:00 昼食

13:00 午後の部 活動開始

15:00 活動終了 終わりのミーティング (活動振り返り・次回の説明)

15:45 支笏湖バス停 スタッフ見送り

15:45 支笏湖 → 16:06 新星 → 16:16 本町2丁目 →  
16:23 千歳駅前 解散 (→16:29 南千歳駅 16:34新千歳空港)



活動風景



持続可能な次世代育成

# 野外教育 千歳モデル



目指すは 産民学官 協同サイクルの構築

産業界(民間企業)、民間(地域住民)、官公庁(国・道・市)、学校(教育・研究機関)

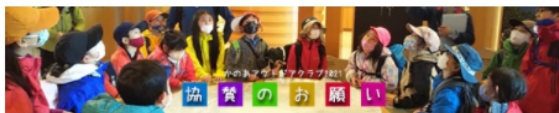
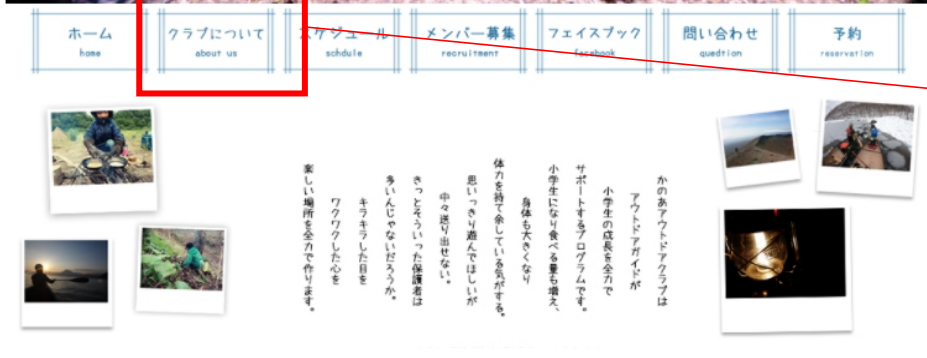
# 協賛のお願い

1口/年 ¥30,000-

---

私たちは千歳の子どもたちを「オール千歳」で育てる仕組みを作りたいと考えています。我々はプレイヤーとして場をつくり、千歳の次世代を担う子どもたちを受け入れます。賛同いただける皆様にはご協賛いただき、この取り組みの質を高め、持続可能な取り組みとするためご協力をお願いいたします。





協賛 協力 : 北海道大学水産科学研究院 国際教育室 (開発研究グループ) NPO法人 ezorock 後援 : 千歳市教育委員会

 ほくよう 歯科クリニック  
Hokuyo Dental Clinic

# 協賛リターン

協賛 5口~

・ウェブサイトトップページに  
メインスポンサーとしてバナーの設置

※その他取り組みに関する講演等の資料にできる限りロゴや  
企業名を記載いたします。

協賛 2口~

ウェブサイト「クラブについて」内に  
協力企業一覧に企業名記載